



BOOK MATE

兵庫県立大学附属高等学校図書室だより 令和 4 年 11 月号

図書委員のおすすめ本

チーズはどこへ消えた？

SPENCER JOHNSON (扶桑社)



この本は 3 部構成でできており、元クラスメート達による集まりで、一人の男性がある本に出会ったおかげで人生が良い方向へと進むようになったと言います。その本こそ『チーズはどこへ消えた？』であり、その男性がその本の物語について話し始めます。二匹のネズミと二人の小人がチーズを求めて、迷路を進む話です。そして最後にその物語を聞いて、自分を物語の人物と当てはめるのなら、誰だろうなどとディスカッションをします。変化を恐れないことの重要さや、周りの変化などに注意を払い、変化に対応する大切さなど、たくさんのことを学ぶことができるすばらしい作品で、人生の転機に読み返したいと思うほどです。ぜひ読んで下さい。

1 年 図書委員



あと少し、もう少し

瀬尾 まいこ (新潮社)

この本は、1 区から 6 区を走る、個性豊かな 6 人のメンバーのそれぞれの視点から、互いに交差する思いが描かれる中学校の駅伝を舞台にした作品。6 人のメンバーの中で陸上部員は 3 人、他 3 人は陸上と全く関わりがない、ヤンキーの大田、ムードメーカーのジロー、吹奏楽部の渡部。1 区から 6 区、駅伝のタスキのように話がつながっていく。駅伝に興味がある人はもちろん、興味がない人もぜひ読んでほしい。

1 年 図書委員

自分を信じる力

福岡 堅樹



自分を信じる力

福岡 堅樹 (講談社)

この本は、ラグビー元日本代表の福岡堅樹さんのラグビー人生と医学部合格までの道のりが描かれています。前例の少ないトップアスリートが医者になるという簡単にできないことを、自分を信じたからこそ達成することができたという福岡さんの経験から、たくさんのことを学ぶことができると思います。皆さんは、それぞれ夢や目標があると思います。この本を読めば、夢や目標への向き合い方を考えることができると思います。これから先、進路などで悩むこともあると思いますが、そんなときに読んでみてほしい一冊です。

1 年 図書委員

ステップ

重松 清 (中公文庫)



この本は、娘がすごく幼いときに妻を亡くした夫と、その娘の成長の物語です。娘は母の死があまりにも早かったので、母の記憶はないほどです。夫も料理は全然したことがなく、子育てでもあまりしていなかったもので、最初は家族 2 人の生活はすごく大変そうでした。ですが、徐々に慣れてきて、2 人はどんどん成長していきます。娘がわがままな子からしっかりとした子になっていく姿や、夫の子育てに悩みながらも頑張る姿などが見どころです。この本は、映画化もされているほどで、読みやすく、面白いのでぜひ読んでみてください。

1 年 図書委員

R4年度 11月の開館予定

日	月	火	水	木	金	土
		1 ○	2 ○	3 ×	4 ×	5 ×
6 ×	7 ○	8 ○	9 ○	10 ○	11 ○	12 ×
13 ×	14 ○	15 ○	16 ○	17 △	18 ○	19 ×
20 ×	21 ○	22 ○	23 ×	24 ○	25 ○	26 ×
27 ×	28 ○	29 ○	30 ○			
○…昼休みと放課後 △…昼休みのみ ☆…13:30～18:00 ★…13:30～16:40 ×…閉館						
開館時間…昼休み(12:45～13:05)、放課後(15:30～18:00) ※貸出は16:40まで 火・金の放課後は中学校優先日						

図書室からのお知らせ

2023 年版の赤本を順次入荷しています。是非図書室赤本コーナーへ立ち寄って利用してください。

～editorial note～

後期になって最初の BOOKMATE を発行するにあたり、4 人の図書委員に本を紹介していただきましたことを心より感謝申し上げます。寒くなる日が増えてきました。道路脇の木々も赤や黄色に色づいてきましたね。食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋、芸術の秋、勉強の秋。秋は何をするにしても過ごしやすく、また趣があるようです。ぜひ皆さんもこの秋、いろんなことにトライしてみたいはいかがでしょうか。